



鐵道技師堀三之助外六名外國勳
章記章受領及佩用ノ件
右謹テ裁可ヲ仰ク

明治四十二年三月十一日

内閣總理大臣侯爵桂太郎

内

閣

三月十一日裁可

明治四十二年三月十日

内閣總理大臣ノ賞勳局總裁



露國神聖スタラス^李星附^李第二等勳章 鐵道技師 堀 三之助

同國神聖スタラス第三等勳章 勳八等川住 正徳

葡國^李コンマンドール、ド、ロドル、ロヤール、ミリテール、ド、ノートルダム、ド、ラ、コンセプシヨンド、ウヰラ、ウヰシオサ勳章

兼^李遞信省參事官 二上 兵治

暹羅國白象第五等勳章 海軍大尉 馬島專之助

普國赤十字第三等記章 ^{正二位大勳位功一級 公爵 大山巖妻} 大山 捨松

佛國オフフィシエーダカデミー記章 ^{京都帝國大學理 工科大学助教授} 本野 亨

内閣

韓國皇帝陛下即位禮式紀念章 陸軍少曹長 赤坂 安藏

右堀三之助外六名ノ頭書ノ外國勳章記章受領及

佩用、儀頼出矣御允許相成可然哉此段允裁ヲ仰

ク

明治十二年二月十九日

外國勲章受領及佩用願

今般露國ヨリ星付「スタニスラフ」第二等勲章
贈與相成候ニ付右受領佩用共御許可
相成度供閱物件相添此段奉願候也

明治十二年二月十九日

鐵道技師從五位勲四等 堀三之助

賞勲局總裁男爵大給恒殿

供閱物件

一露國星付「スタニスラフ」第二等勲章

一同勲記

一勲記翻譯

右受領佩用共願出ニ付差出候也

明治四十二年二月十九日

鐵道技師從五位勲四等 堀三之助

賞勲局總裁伯爵大給恒殿

勲記翻譯

全露西亞獨裁君主ホーランド王、スーランド大公及
其他ヲ司配スル「ニコライ」第二世皇帝ハ

神意ニ基キ日本掘技師ニ授ク

特典ヲ以テ千九百八年六月九日付勅令ニテ賞勲局ニ命シ卿ニ
露國勲章呈付「スタニスラフ」第二等勲章ヲ親授セリ
此勲記ニ勲章形ヲ捺印シ且署名シテ勲記添、卿ニ贈呈
スベシ露帝國賞勲局ニ命ス

一千九百八年六月二十一日

聖、彼得堡ニ於テ

露帝國賞勲局長官男爵 某 (姓名不詳)

露帝國賞勲局事務官 某 (姓名不詳)

外国勲章佩用願

四十一年三月三日

今般露西亞国皇帝陛下ヨリ神聖スクニ
スライコ第三等勲章、贈與ヲ受ケ右ハ在
東京露国大使館ヨリ受領候依テ佩
用御允許相成度此段奉願候也
但シ右勲章勲記及其譯文御送付候也

明治四十二年三月二日

神奈川縣横濱市北方町
三百七拾三番地士族
勲八等 川住正徳

賞勲局 總裁 伯爵

正親町 實正 殿

勲記譯文

天佑ヲ保有スル全露西亞獨裁皇帝
波蘭王芬蘭大公及其他ニ君タル朕ニ
ライ第ニ世在日本露國大使館附武
官通譯日本臣民川住正徳ニ宣ス朕ハ
ニ殊遇ヲ表セン為メ千九百八年十二月
二十四日附ヲ以テ賞勲局ニ命シ卿ヲ我
帝國勲章之神聖ニスラ一ノ第三等
ニ叙セリ
朕ハ露西亞帝國賞勲局ニ命シ此勲記
ニ記名シ勲印ヲ捺シ卿ニ勲章ヲ贈與
スベキヲ以テセリ

千九百九年一月十二日

聖彼得羅堡

賞勲局長

ヅロビン記名

賞勲局事務官

エスチヤーギン記名

勲印

第六百三十号

外國勲章佩用願

葡萄牙國及アルガルヴエス皇帝ドン、
マニエル第二世陛下ヨリ贈與ノコマンンドール、
ド、ロルドル、ロパール、ミリテール、ド、ノートルダムド、
ラ、コンセパシオン、ド、ウカラ、ウチシオサレ勲章佩
用、義許可相成度此段奉願也

明治四十二年一月

渡信者参事官兼通信書記官

正七位勲六等ニ上兵治



賞勲局總裁伯爵正親町實正殿

供闋物件目録

一 葡萄牙國及ポアルガルヴェスに皇帝ドソ、
マニエル第一二世陛下ヨリ贈兵ノコマンンド
ル、ド、ロルドル、コヤル、ミリテール、ド、ノー
トルダム、ド、ラ、コンセブシヨンド、ウキラ、ウサシ
オ、ド、勲章

一同勲章ニ對スル勲記

一 右勲記翻譯書

一 筒
一通
一通

右佩用出願ニ付差カ夫也

明治四十二年二月

實信有參事官兼海防書記官ニ上兵治

(三)

賞勲局總裁伯爵正親町實正殿

葡萄牙國及アルガルヴエスに皇帝トタル
朕ハ日本通信者参事官兼通信書記官ニ
上兵治ニ宜ム

朕ハ御カ事情ヲ鑒ミ且ツ去九月里斯本ニ
會合セル萬國電信會議ニ於テ委員トシテ
盡シタル功勞ニ對シ朕カ慈愛ノ意ヲ表
センカ爲メ外務大臣ノ奏請ヲ容レ御ニ
コンマンドール、ド、ロルドル、ロアヤル、ミリテール、
ド、ノートルダム、ド、ラ、コンセブション、ド、ウカラ、
ウカシオリニ勲章ヲ授與ス

依テ御ハ此ノ名譽ヲ保持シ且其ノ尊重ス
ヘキ勲章ヲ佩フルコトヲ得ルカ爲朕ハ御ニ
此ノ勲記ヲ贈ル

一千九百八年八月二十七日「ネセシダデス」
宮殿ニ於テ認ム

皇 帝 (親署)

フランシスコ、イオーキム、ド、アマラー
(副署)

日本通信者参事官兼通信書記官ニ上兵治ハ

四十二年三月八日

外國勳章佩用願

今般羅國皇帝陛下ヨリ白象カ五等勳章一ツヲ賜テ奉_レ候_ニ付_テ佩用免許伏_ス下
附_キテ度勳章及勳記相席_ハ未_ダ段奉_レ願_ヒ侍_ヤ

明治四十二年三月八日 正七位勳五等功級

海軍大尉 馬島重之助

貴勳旨准裁伯爵正親所宣旨正殿

南北暹羅及其屬領ヲオスコレアシスノ王暹羅白象勳章ノ
主權者タルソムデツチ、フラハラミンブル、マハ、チエラロンユロシ、フラ、
ケエラチヨム、クハラカイ

日本國島島大尉ニ

暹羅白象勳章ヲ授與シ此位ヲ有セシム
宇宙ヲ主宰シ給フ全能ノ神ヨヒ異クハ彼ヲ看顧シ
疆リナキ幸福ヲ与ヘ給ヘ

一九〇八年八月二十八日即位第一四五三九日

御名 御願玉

外國記章受領及佩用願

捨松儀

今敝獨逸國皇帝陛下、赤十字第三等
記章贈與相成候間受領及佩用、儀允許
相成度供閱物件相添比、敢奉願候也

明治四十二年三月二日

元帥陸軍大將公爵大山巖妻

大山 捨松

貴勲百總裁伯爵正親町實正殿

供閱物件目錄

一 赤十字第三等記章

一 證狀 (圓共)

一 互翻譯書

右

壹 個

右 壹 葉

壹 葉

千九百七年七月二十日於柏林

普魯士王國賞勳局總裁

フホシ、ユシリシ

國王陛下勅命：因リ

普魯士王國賞勳局總裁ハ陛下ヨリ在東京大山
侯爵夫人捨松ニ

第三等赤十字記章

ヲ下賜セラレタルコトヲ保證シ茲ニ記名調印シテ
之ヲ確證ス

千九百八年第二五八七〇號

謄
状
寫

Auf Befehl Seiner Majestät des Königs
bezeugt die Generalkommission in Ange-
legenheiten des Königlich Preussischen
Ordens hierdurch, daß Seine Majestät der
Marquis Iutemaku Oyama zu Tokio
die Rote Kreuzmedaille dritter Klasse
zu verleihen geruht haben. Zur
Belegabingung ist dieses Zeugnis unter
unserer Unterschrift und Siegel aus-
gefertigt worden

Berlin, den 20ten Juli 1907

Generalkommission in Angelegenheiten
des Königlich Preussischen Ordens.

Vons. J. J. J.

裏
面
白
紙

外國記章受領佩用願

四十二年一月十四日

佛國政府ヨリ贈與相成候オフ井シエーダカデミー記章受領佩用ノ義御允許被成下度別紙供閱物件目錄相添比段相願候也

明治四十二年一月十四日

京都帝國大學理科大学助教授後六位本野亨



賞勲局總裁後二位勲一等伯爵大給恒殿

供閱物件目錄

一 記章

壹 個

一 章 記

壹 通

一 章 記 譯 文

壹 通

右受領佩用免許相願候付差出候也

明治四十二年一月十四日

本野 亨

佛蘭西共和國文部大臣ハ千八百八八年三月十七日
ノ布令第三十二條、千八百四十四年十一月十四日、千
八百四十五年九月九日及千八百四十六年十一月一日
ノ勅令並千八百五十年十二月九日、千八百六十六年
四月七日、同年十二月二十七日、千八百八十五年
十二月二十四日及千八百九十八年八月四日ノ官
令ニ依リ在巴里電氣技師本野氏ニ「オフ丹
シ早、ダカデミ」ノ記章ヲ贈與ス

千九百六年三月一日巴里ニ於テ

文部大臣ビヤンヴニエー、マルラン 自署

一五十八
二七八

明治四十一年五月十二日
豫備陸軍歩兵曹長勲等功級赤坂安藏

後場
明治四十一年五月十二日
受第 二二九七番

外國紀念章佩用願

韓國皇帝陛下ヨリ賜與相成候韓國皇帝陛下
卽位禮式紀念章受領及佩用ノ儀御允許
相成度別紙供閱物件相添此段相願候也

本籍地 和歌縣日高郡稻原村大字印南原七百三十九番地

明治四十一年五月五日

豫備陸軍歩兵曹長勲等功級赤坂安藏



賞勳局總裁殿

供閱物件目錄

一 卽位紀念章

壹個

一 大韓國紀念章證書寫

壹通

右受領佩用允許相願候ニ付差出候也

本籍地 和歌山縣日高郡稻原村大字印南原七百三十九番地

明治四十二年三月五日 豫備陸軍中將會長勳七等功級赤坂安藏



大韓國紀念章證書

陸軍歩兵曹長赤坂安藏

隆熙元年八月二十七日

詔勅旨欽奉旨付

大皇帝陛下即位禮式紀念章一枚

是授與旨之事

奉勅



表勳院總裁從一品勳一等李載克



本章簿冊第

號編入事

表勳院書記官正三品勳五等金澄模

